

令和3年度 旭川市農業センター試験課題等一覧

<農業センターほ場試験>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
1	夏秋トマトの養液栽培試験	R2～	4月下旬	6月中旬	8月上旬～	昨年度の試験では、安価に導入可能なサンホープ製の養液システム（肥家効蔵）の有効性を確認したが、尻腐果の軽減対策などの課題に対応するため、当該システムの管理方法等について検討する。	旭川青果物生産出荷協議会トマト部会
2	さつまいもの品種比較試験	R2～	—	5月下旬	9月下旬	輪作作物として計画されている青果用さつまいもについて、地域に適応した品種の検討資料を得る。 <供試品種：シルクスweetほか4品種程度>	J A 東旭川
参考1	さつまいもの栽植密度調査	R3	—	5月下旬	9月下旬	輪作作物として計画されている青果用さつまいもについて、地域に適応し、作業性と収量性を両立する適切な栽植密度を検討する。 <供試品種：シルクスweet, ベニアズマ>	J A 東旭川
3	サラダナの作期別品種比較試験	新規	①2月16日 ②4月中旬 ③6月下旬 ④8月下旬	①3月9日 ②5月上旬 ③7月中旬 ④9月中旬	①4月上旬 ②6月上旬 ③8月上旬 ④10月上旬	基幹品種である「キャスパロ」の種子が供給停止となることから、代替品種の検討資料を得る。 <供試品種：9品種>	旭川青果物生産出荷協議会サラダナ部会
4	コマツナの作期別品種比較試験	新規	①3月5日 ②6月上旬 ③7月下旬 ④9月中旬	—	①4月中旬 ②7月上旬 ③8月下旬 ④10月下旬	現在の基幹品種に比べ、低温期の発芽ぞろいの向上及び高温期の日持ち性、在ほ性の向上が期待できる品種の検討資料を得る。 <供試品種数：①④11品種, ②③12品種>	旭川青果物生産出荷協議会小松菜部会
5	チンゲンサイの直播栽培試験	新規	①4月上旬 ②7月中旬 ③9月中旬	—	①5月下旬 ②8月下旬 ③10月下旬	移植栽培よりも省力化が期待できる直播栽培について、低温期における発芽率及び当地における適切な栽植密度を検討する。 <供試品種：冬大賞ほか3品種>	旭川青果物生産出荷協議会チンゲン菜部会
6	ハウレンソウの作期別品種比較試験	R2～	①3月8日 ②8月下旬	—	①4月下旬 ②9月下旬	基幹品種である「ハンター（カネコ種苗）」にべと病が発生したことから、基幹品種よりもべと病抵抗性を有し、当地に適した品種の検討資料を得る。 <ハンターほか13品種>	旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会
7	パセリの品種比較試験	R2～	3月10日	5月上旬	6月中旬～	基幹品種「グランド（カネコ種苗）」は、うどんこ病対策が課題となっていることから、うどんこ病に強いとされる品種「エンリッチ（ツルタのタネ）」の当地における適応性について調査する。	旭川青果物生産出荷協議会パセリ部会
参考2	パセリのうどんこ病予防剤と殺虫剤との混用による薬害調査	新規	〃	〃	〃	市内生産者は、うどんこ病予防の定期的な薬剤散布の際に、害虫防除を併せて行うことが多く、新規導入薬剤であるクリーンカップとの混用による薬害発生が懸念されている。そのため、生産者の使用頻度の高い殺虫剤について混用による薬害の有無を調査する。<アフアーム乳剤ほか2薬剤>	旭川青果物生産出荷協議会パセリ部会
8	摘み取り春菊の品種比較試験	R2～	①5月中旬 ②7月上旬	①6月上旬 ②7月下旬	①6月下旬～ ②8月中旬～	市内ではコート種子使用が一般的だが、令和4年度より基幹品種のコート種子が入手できなくなり、入手可能なのは栽培実績がない他の1品種のみとなる。よって、両品種の収量性等を比較するとともに、基幹品種の生種を使用した播種作業性や生育状況から生種利用の可能性も検討する。	旭川青果物生産出荷協議会摘取春菊部会
9	シャインマスカットの栽培法試験	新規	—	5月上旬	—	J A あさひかわでは、新規作物として雨よけハウスによるシャインマスカット栽培を検討している。道内での栽培実績はあるが、より寒冷地である市内での実績がないことから、当地に適した栽培方法を検討するとともに、栽培可能性について検証する。	J A あさひかわ
10	タラの芽の増殖法検討試験	新規	4月中旬 (根の採取)	6月	—	タラの芽のふかし栽培に用いる徳木の生産のために、根を用いた株の増殖法について当地に適した方法を検討する。	J A あさひかわ
11	冬季のコマツナにおける播種適期等に関する調査	R1～	10月上旬～	—	12月～	冬季の無加温栽培において、低温伸長性が高い品種における当地での播種晩限を検討し、ほ場使用開始時期の後退可能性を検討する。	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者

<展示栽培>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	収穫		
展示1	冬季野菜栽培展示	H29～	9月上旬頃	9月下旬頃	11月中旬～	空気膜2重フィルムの耐用年数の確認及び見学用展示, 新規品目の試作を行う。	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者
展示2	寒締めハウレンソウ栽培展示	H19～	9月中旬頃	9月下旬頃	11月中旬～ 1月下旬	今年度の気象条件における生育状況を確認し, 寒締めハウレンソウ栽培を行っている生産者及び栽培を希望する生産者への情報提供のための資料を得る。 <供試品種: 冬霧7ほか 全8品種程度>	寒締めハウレンソウ生産者
展示3	雪中貯蔵可能品目における貯蔵法の展示	R2～	ブロッコリー: 8月上旬 ネギ: 4月上旬	ブロッコリー: 8月下旬 ネギ: 6月下旬	積雪前 積雪後	露地品目の冬季出荷に関心を持つ生産者向けに, 雪中貯蔵品目として有望であり, 冬季も需要が見込まれる2品目について貯蔵法を検討する。<各品目2～3品種>	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者
展示4	水稻育苗箱を用いたハウレンソウの隔離床栽培展示	R3～	①6月下旬 ②8月中旬	—	①8月上旬 ②10月上旬	水稻育苗箱を用いたハウレンソウの隔離床栽培について, 宮城県農業・園芸総合研究所から示されている栽培マニュアルを参考として, 当地に適した栽培法を確認する。	J A あさひかわ